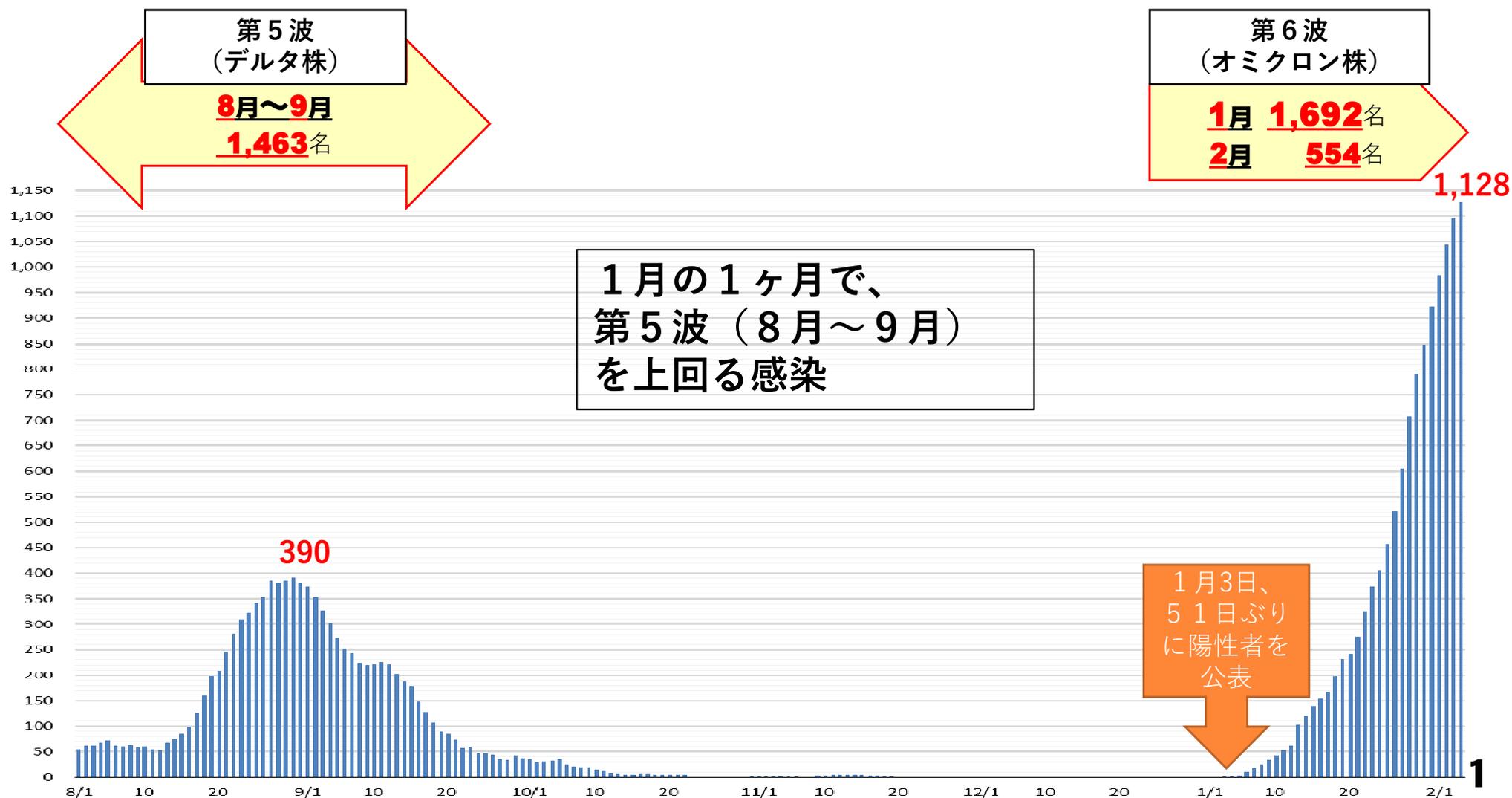


新型コロナウイルス感染症の現状について ～第5波と第6波の比較～

発生状況について ①

(1) 「感染者数」の推移

- 「感染者数の累計」は**5,537**名、「1月、2月の感染者数」は**2,246**名（2月4日現在）
- 「直近1週間の新規感染者数」の最高は「2月4日」の**1,128**名、**増加傾向**
- 「1日あたりの感染者数」は「2月3日」に**過去最高の194**名 ※公表日ベース



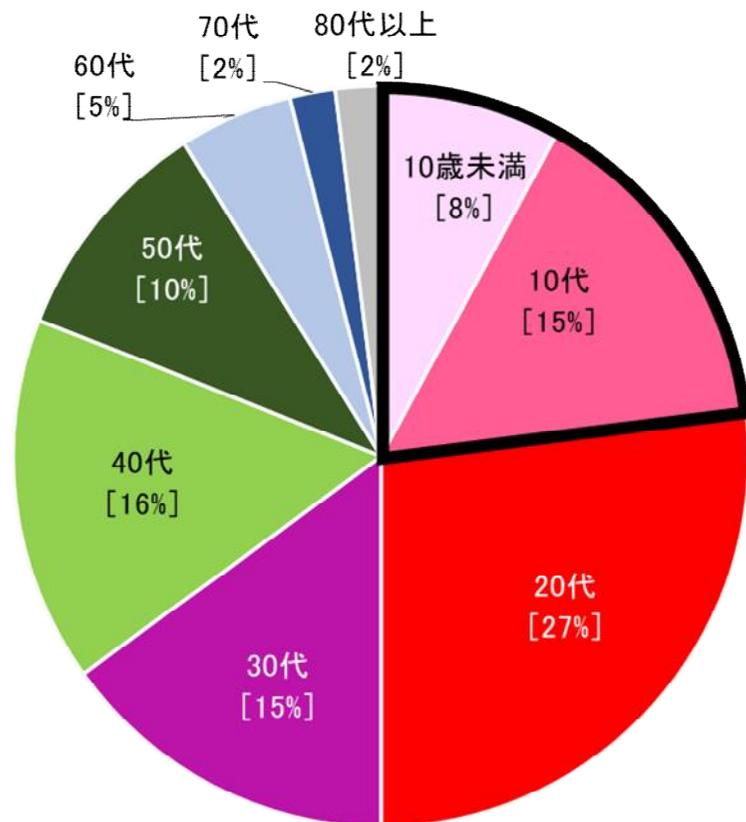
発生状況について ②

(2) 年代別割合の推移

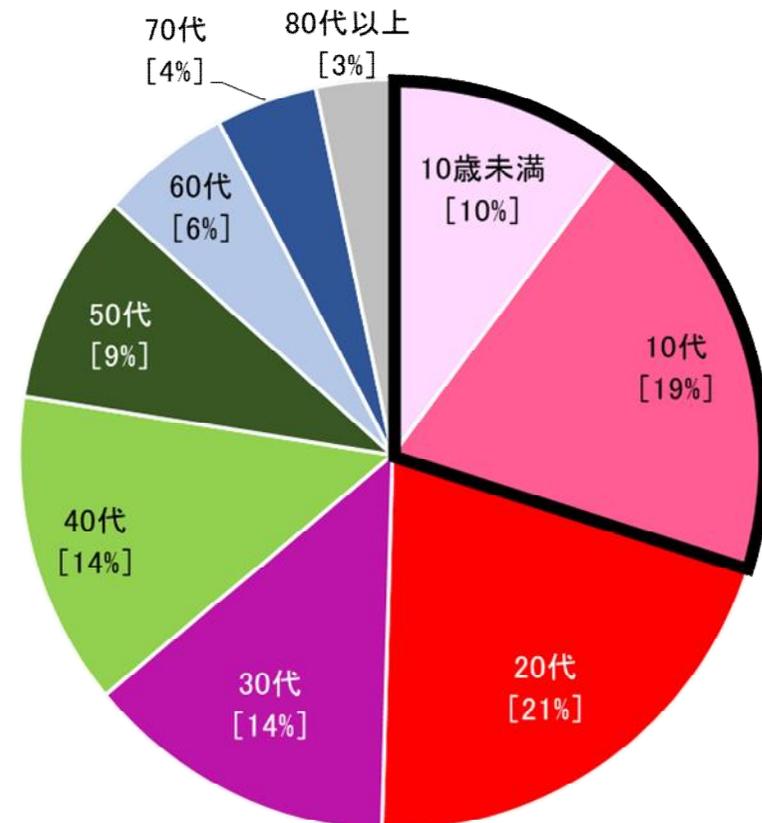
- 第6波においては、10代以下の年代が約3割に増えている
- 「学校・保育施設」での感染が多い

「年代別割合」の推移

8月～9月における
感染者数の年代別割合



1月における
感染者数の年代別割合

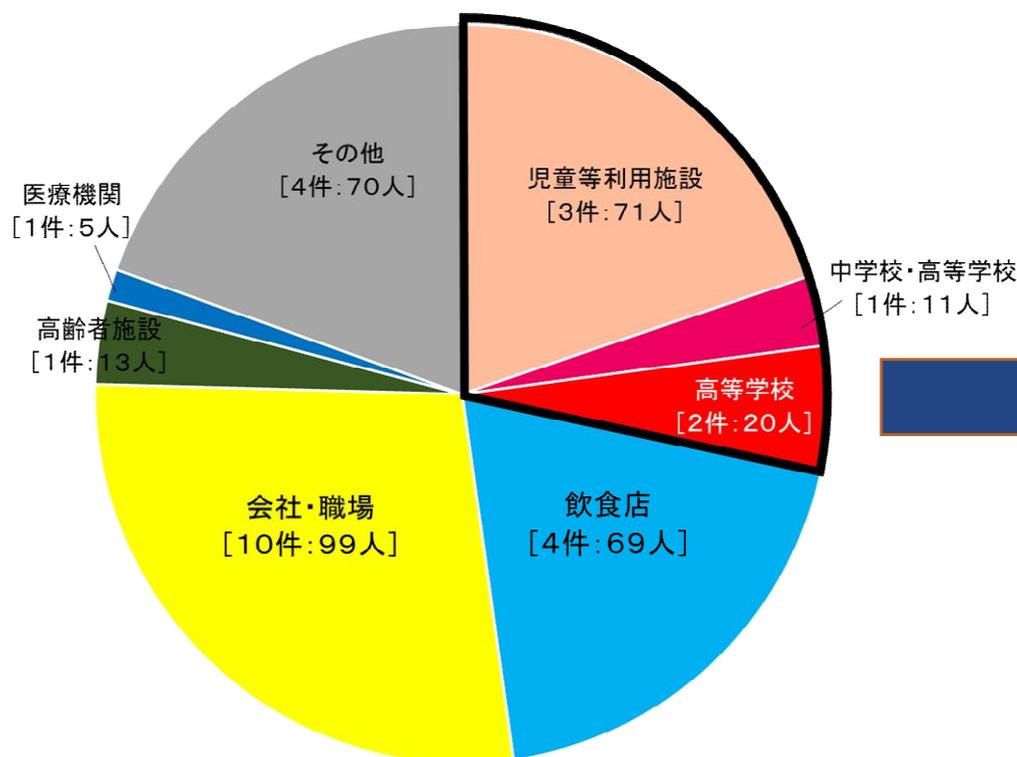


発生状況について ③

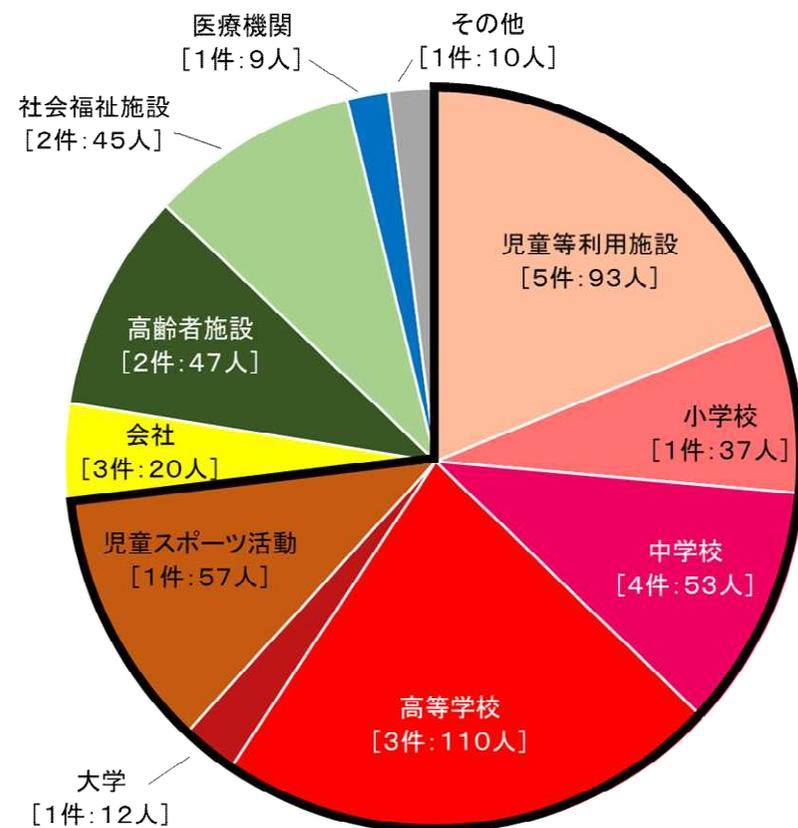
(3)「クラスターの発生状況」について

- 第5波においては、会社や飲食店など多様な場所でクラスターが発生
- 第6波においては、「**学校・保育施設**」の**「学び・保育の場」におけるクラスターが多い**
- 1月1ヶ月で、**月間最多**となる**24例**のクラスターが発生

8月～9月における
クラスター発生人数の割合



1月における
クラスター発生人数の割合

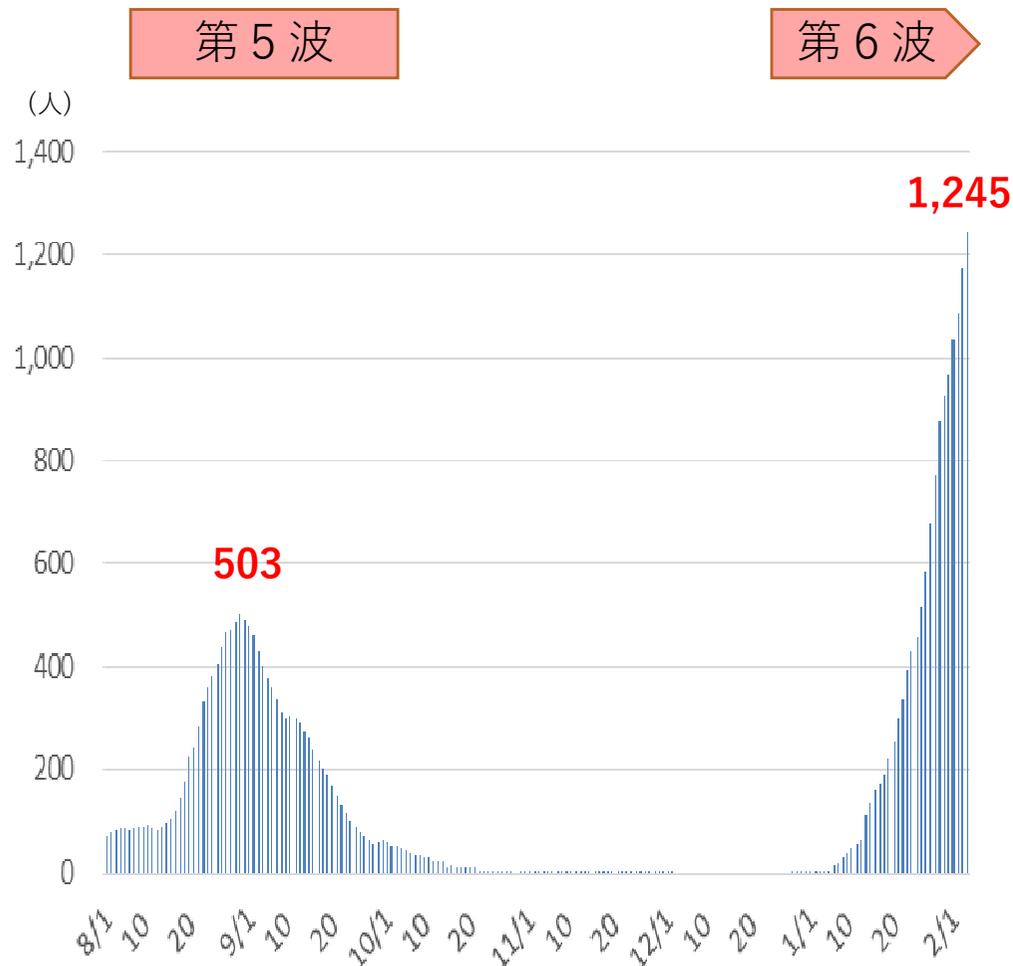


発生状況について ④

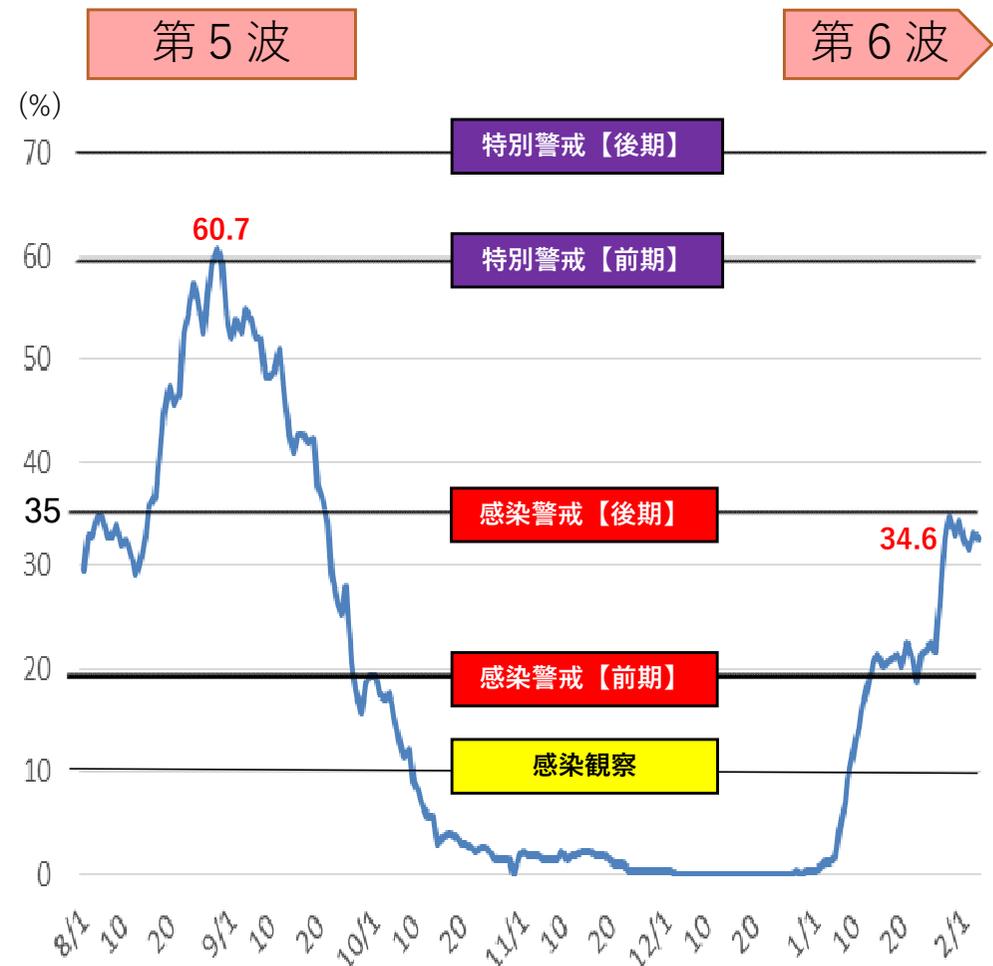
(4) 「療養者数」及び「最大確保病床使用率」の推移

- 感染拡大に伴い、**療養者数は過去最高**を更新
- 一方で、**最大確保病床使用率は、第5波を下回る水準を維持**

「療養者数」の推移



「最大確保病床使用率」の推移



発生状況について ⑤

(5) 変異株（オミクロン株）について

- 1月5日に、**ゲノム解析**の結果、「**オミクロン株**」の感染者を確認
- **感染力は非常に強力であるが、重症化リスクは低い傾向**

オミクロン株の性質

■オミクロン株について

- ・デルタ株の**3倍**の感染力をもつとされる
- ・潜伏期間が短く、発症が早い
- ・ワクチンの効力を低下させる
- ・症状としては、発熱、せき、咽頭痛など風邪症状が中心とされる

■本県における感染状況

- ・1月以降の感染者数は2,246名であるが、病状は無症状者及び軽症者がほとんどであり、**重症者はいない**

	陽性者数	重症	中等症
第5波(デルタ株) (8月～9月)	1,463	3	24
第6波(オミクロン株) (1月～2月) ※2月4日現在	2,246	0	6

変異株の監視体制

■変異株スクリーニング検査陽性率

- ・1月4日公表以降のスクリーニング検査では、全ての検体がオミクロン株疑い
- デルタ株からオミクロン株へ**

検査件数	スクリーニング陰性	解析不可
167	149	18

■ゲノム解析(保健製薬環境センター)

- ・導入を進めていた次世代シーケンサーを12月1日から運用開始。
- 2月4日公表までに63検体のゲノム解析を実施。→**「50検体」をオミクロン株と確定**

解析件数	解析結果			
	解析確定 (A)	うち オミクロン株 確定件数 (B)	確定件数に対する オミクロン株の割合 (B/A)	解析不可
63	50	50	100%	13